

平成30年8月27日
横浜幸銀信用組合

第7回経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議」を設置いたしました。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的とし、平成26年12月2日に第一回経営諮問会議を開催、以後半期に一度の周期で「経営諮問会議」を開催しております。

平成30年7月19日（木）、「第7回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

記

1、日時

平成30年7月19日（木） 17:30～18:25

2、場所

ホテル ニューオータニ ザ・メイン16階 LAPIS

3、出席者

(経営諮問委員) <敬称略>

長谷川 勉 (日本大学商学部商業学科 教授)

後 宏治 (公認会計士 税理士)

佐藤 明夫 (弁護士)

川上 陸司 (経営コンサルタント)

(横浜幸銀信用組合)

呉 龍夫 (理事長)

溝江 雅夫 (副理事長)

齋藤 智成 (専務理事)

有川 繁雄 (常務理事)

池野 和己 (常務理事)

金 忠善 (常勤理事)

土井 真一郎 (常勤理事)

平木 幸男 (常勤理事)

石川 俊幸 (常勤監事)

4、呉理事長挨拶要旨

平成29年11月に旧信用組合岡山商銀と合併し、新たな横浜幸銀信用組合としてスタートいたしました。平成30年3月期の決算については、非常に良い結果となっておりますが、平成30年4月より財務局検査が行われ、会議体の在り方なども指摘を受けており、改善している最中であります。本日委員の皆様方からご質問・ご意見を頂戴し、今後の経営に生かしてまいりたいとの挨拶を行いました。

5、当組合からの説明要旨

- ・平成30年3月期決算報告
- ・平成30年6月末業況

6、意見交換

出席者から以下のご意見、ご提言を頂きました。

- 預金と貸出金との期間のマッチングに注意し、資金調達コストが上がらないよう注意すべき。
- 過度な金利競争を行わず、貸出と金利のバランスに注意すべき。
- 他行との競合などで環境が変わってもソフトランディングできる対応をすべき。
- ガバナンスの作り方に、インフラコストを掛けても作りこむべき。
- 高齢化等もあり、事業承継に力をいれるべき。
- 外部コンサルティングとの連携も検討するべき。
- 店舗戦略を重視するべき。

(2) 組合からの回答

本日は貴重なご意見を頂きまして誠にありがとうございました。

本日頂いた貴重なご意見・アドバイスを内部で検討し、内部管理の徹底、取引先への綿密なフォローアップと営業面での情報の集約の徹底、そして、お客様から安心できるとの評価を得られるような組合を目指し、今後の具体的な戦略、施策に繋げて参りたいと存じます。

今後とも委員の皆様のご支援・ご指導を賜りますよう、よろしく願いいたします。

本日は、長時間に亘り、有難うございました。

以上